



特定非営利活動法人

メダカのお弁当

お弁当提供型子ども食堂

本当に支援が必要な方に
必要な支援を継続的に届ける

相模原市中央区・JR相模原駅近く

2022年3月 任意団体活動開始
4月 第1回お弁当提供
11月 NPO法人設立
2024年1月 学習支援事業開始

後援 相模原市
相模原市社会福祉協議会

001



さがみはら
SDGs
パートナー
さがみはらSDGsパートナー



食事食材支援事業

メダカのお弁当

平日毎日(月)～(金)

朝7時からお渡し

予約制(1日平均約20食)

子育て世帯対象

どなたも無料

2025年3月31日までに

稼働 669回

提供 11995食

002

特定非営利活動法人メダカのお弁当

食事食材支援事業

リアル・メダカの食堂

月イチ開催/あたたかい食事と会話を楽しむ会

オープン型・メダカの食堂

月イチ開催/誰でも参加できる地域食堂

メダカのパントリー

月イチ開催/食材お渡し会・毎月20世帯

ドコデモこども食堂

地域飲食店と提携/アプリに毎月3000円付与

※ 子育て文化活動支援金

体験の格差の解消/最大36,000円支給

003

特定非営利活動法人メダカのお弁当





無料学習支援事業

無料学習支援

メダカの学校



メダカの学校

1 相模原二丁目教室

清新仲町自治会と連携/ボランティア多数

2 伊勢原八幡台教室

神奈川県と連携/県営団地空家活用

3 清新教室

無料サッカースクールと連携

4 相武台ひばりカフェ教室

大学生を教室長とした次世代育成教室

5 相模大野駅前教室

市社協ご協力による教室のご提供

6 相模湖教室

人口減少地域進出計画・第1号教室



- | | |
|---------|-----------------------|
| 2023年1月 | 開催構想発表 |
| 3月 | チーム2023始動 |
| 11月 | 第1回サミット開催 |
| 2024年3月 | チーム2024始動 |
| 5月 | こども委員会発足 |
| 6月 | NPO法人設立 |
| 7月 | なのはな活動開始 |
| 10月 | SDGSアワード受賞 |
| 11月 | 第2回サミット開催
藤村新委員長就任 |
| 2025年1月 | アフターパーティー |
| 3月 | チーム2025始動 |





さがみはら

子ども・子育て・ママ&パパ

支援大賞

2025

当日来場者による
投票で決定!

大賞1件/副賞10万円



その他、部門賞あり 賞金提供 NPO法人 みんなの未来

団体・個人・事業者等が取り組む子どもと子育て、そしてママ&パパへの支援活動に対する表彰とそれをサポートする皆様(企業や個人スポンサーの方々など)とのマッチングの場を創設しました。皆様の素晴らしい活動を広めたい! ぜひご応募ください。

2025. 10.24(金) 15:00開演

MC: 金沢シーサイドFMパーソナリティー 大河内綾

入場無料 どなたでもご入場できます

会場 小田急相模大野駅下車すぐ ボーノ3F
ユニコムプラザさがみはら

15:00~ ノミネート活動プレゼンテーション

17:00~ 来場者全員による投票

17:30~ 大賞その他各賞の発表と表彰

18:00~ 来場者の皆様との交流会

エントリー
募集

受付期間 3/15(土)~6/15(日)

【広告特別協賛】

- 株式会社コンプリート
- 有限会社らいふ
- 【協力】
- 神奈川県住宅供給公社
- さがみ生活クラブ生活協同組合

【後援】

- 神奈川県 協賛が協力・後援にご賛同いただける企業スポンサーや個人スポンサーを募集しています!
- 相模原市 社会福祉法人
- 相模原市社会福祉協議会 公益財団法人
- かながわ生き生き市民基金※ 公益社団法人
- フードバンクかながわ※ 特定非営利活動法人
- 全員参加による地域未来創造機構 学校法人
- 神奈川県経済専門学校 公益財団法人
- 相模原市産業振興財団 特定非営利活動法人
- セカンドリーグ神奈川 株式会社
- コカ・コーラボトラーズジャパン 株式会社
- 株式会社StockBase 公益財団法人
- 相模エナジー株式会社 公益財団法人
- 相模エナジー株式会社 公益財団法人
- 神奈川県社会福祉財団 (株)エフエムさがみ(FM HOT 83.9) 認定NPO法人
- 全国こども食堂支援センター・むすびえ
- 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会



第1回

1. 企業や支援者との交流の場
2. 大賞は当日来場者の投票で決定
3. 副賞として10万円(使途自由)

10/24 FRIDAY 15:00 START
ユニコムプラザさがみはら
(小田急相模大野駅下車すぐ ボーノ3F)

エントリーしていただいたすべての団体・個人・事業者の中から厳正なる一次審査ののち

10の活動をノミネートします

ノミネートされた活動の代表者は10/24(金)の表彰会場にてプレゼンテーション(二次審査)を行い、ご来場された皆様によるもの場での投票で大賞を決定します。

～エントリーの際は以下をご確認ください～
■相模原市内での活動に限ります
■10/24(金)会場でのプレゼンテーションおよび交流会に出席していただきます
■一次審査において活動の現地視察の受け入れと面接(オンラインの場合あり)をお願いいたします
■ノミネートされた活動については事例紹介を様々な媒体(SNSや新聞、ラジオ等)で行うことをご了承ください
※法人格および活動年数は問いません

【エントリー(応募)方法】
① 右記フォームから必要事項を入力する
② エントリー用紙を郵送
※郵送ご郵送の方は事務局までご連絡ください
※「他選」の欄は必ずお填せいただきます
※応募条件 他2団体または推薦人10人の署名

共同開催
NPO法人さがみはら子どもの居場所サミット
チームユニバース運営委員会
NPO法人みんなの未来(ミライ・テラス)

お問い合わせ
080(5421)4605

shientaisyo@gmail.com

メールでも受け付けております

全体調停: 相模原市(予定)

ノミネート(一次選考通過)の発表は6月下旬から9月上旬を予定しています

AWARDS

協賛にご協力いただける企業スポンサー、個人スポンサーを募集しています!
こちらのフォームよりお問い合わせください
shientaisyo@gmail.com

006

特定非営利活動法人さがみはら子どもの居場所サミット

共同
開催

NPO法人 さがみはら子どもの居場所サミット
チームユニバース運営委員会
NPO法人 みんなの未来(ミライ・テラス)

https://shientaisyo.jimdosite.com/
shientaisyo@gmail.com

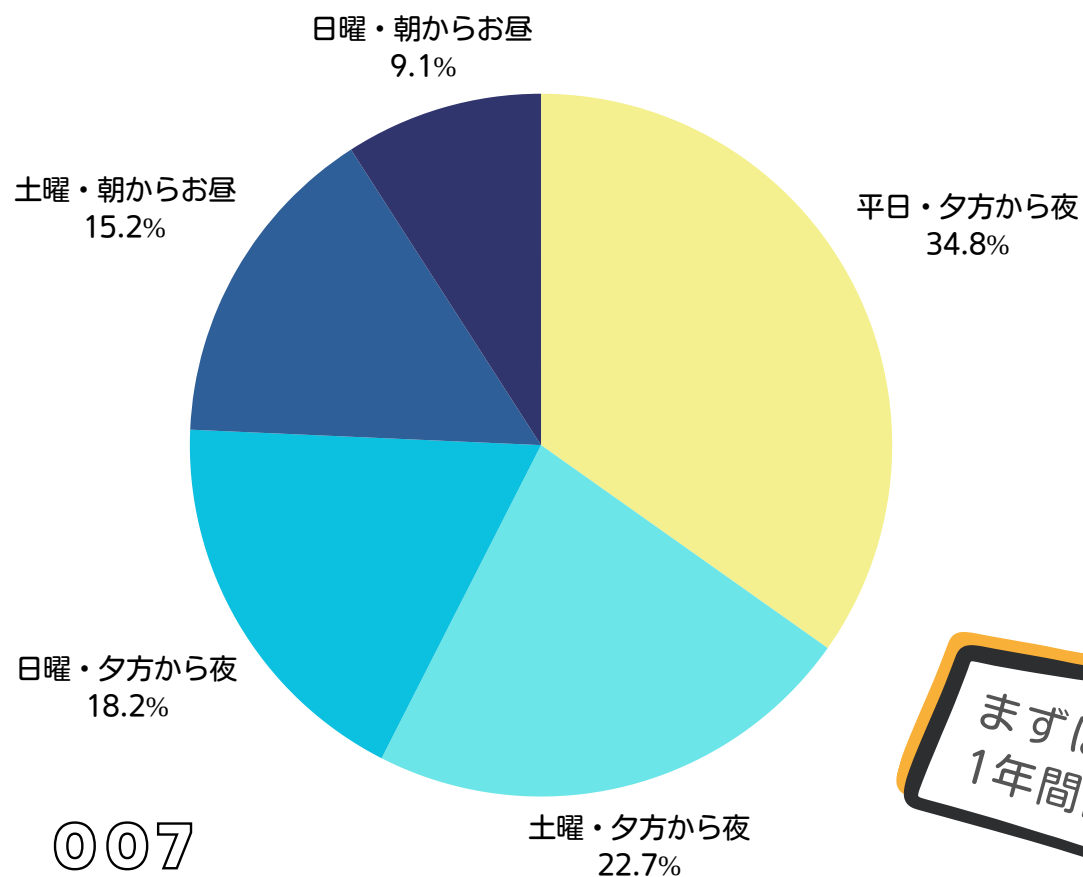


メダカ・2025年のチャレンジ ①

アンケート結果(2025.1.11集計)

皆様にとって「メダカのお弁当があると嬉しい曜日＆時間帯」を教えてください！

対象：メダカのお弁当「公式LINE」登録者
有効回答数：66通



007

- ・平日の朝は取りに行くことが難しいので、土日にお弁当があると大変助かります。
- ・平日は子供が給食なのでお弁当を食べられないのですが豪華で美味しいお弁当を子供と一緒に食べる機会（夕方、土日等）が出来たらとても嬉しいです。
- ・平日や土曜日昼間は仕事があるので、受け取ることができないので、夜だと仕事後に行ける日もあるかなーと思いました！
- ・平日ですとなかなか取りに行けないこともあり、いつも諦めています。土日は平日の仕事の疲れから、体調不良になる事が多いので、お弁当があると助かります。
- ・フルタイムで働いているので、なかなか取りに行かことができません。仕事帰りの18時頃から取りに行けたらありがたいです。

…等々のご意見をいただきました。休日開催の必要性を痛感しています。そこで、

365日！

メダカのお弁当

4月スタート、継続中！

7/9現在 769回 13,546食

まずは
1年間限定

特定非営利活動法人メダカのお弁当

メダカ・2025年のチャレンジ ②

無料学習支援「メダカの学校」

第7教室「相原教室」

2025年9月1日(月)開校！

第8教室「習字教室」

2025年9月6日(土)開校！

メダカ・2025年のチャレンジ ③

食と学習、そして経済的独立支援の3本柱を構築

第1回 インクルーシブ 進学・就労フェア in 相模原

2026年3月8日(日) 開催！

008

特定非営利活動法人メダカのお弁当





「無料塾」としての取組を明確にし、ミスマッチを防ぐ

家庭の経済的事情などにより有料の塾には通えない—————

けれども「勉強したい」「進学したい」と願う子どもたちを対象としています。

②学習支援に取り組む中で
大切にしていること

・必ず保護者と同伴で

事前面接を実施

「居場所的学習支援」の否定ではなく、
支援のカタチは「AがだめでもBがある/
Bが合わなくてもCなら行ける」が理想的

・当面の目標

公立高校への進学を後押しする

ただし、有料塾と同じものは提供できないし、

目指す必要もないと考えています→理由は後述④にて





そもそも塾は格差を解消するどころか

格差を拡大する装置

努力が成果として現れるのはある意味、健全です。

しかし、現代社会における大きな問題の一つに、

**努力したくとも、生まれた環境によって
それすらできない子どもたちがいる**

学力や進路が家庭の経済力によって決まってしまうことは
見過ごせない社会課題の一つと考えます。

② 学習支援に取り組む中で
大切にしていること

私たちが目指すのは「結果の平等より機会の平等」



司馬遼太郎の名著「坂の上の雲」の冒頭の一節

②学習支援に取り組む中で
大切にしていること



**社会のどういう階層の、どう
いう家の子でも、ある一定の
資格をとるために必要な記憶
力と根気さえあれば、博士に
も、官吏にも、軍人にも、教
師にも成り得た。**

やる前から「自分には無理」と思い込まないこと。

「自分には可能性があるんだ」と前に進む勇気を持つこと。

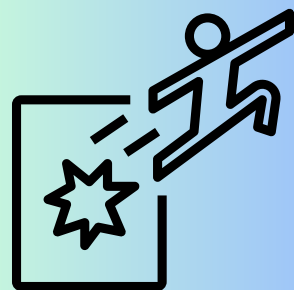
——この実感こそが、これから先、誰にも奪えない力になっていく



「たった一人」に、心を折られないために

理想と現実のギャップ、理不尽な出来事、思いもよらない要求 etc

③活動を続けるポイント
その1



周囲をかき乱す
無断で何度も休む
ルールを平然と破る



やる気がまったくない
支援を当然のように
“利用”する



そして、今の時代は
それらに対する
注意すら難しい…

仕事であれば「報酬」によって自分を納得させることもできますが・・・

だからこそ、「耐性」を最初から意識的に持っておく必要があります。

その後ろには**笑っている10人の子ども達、感謝してくれている20人が必ずいるのだと**



そしてもう1つ、「外からの正論」という矢

013

③活動を続けるポイント
その1



SNSや口コミ、うわさ話など、実情を知らない外部からの「矢」が飛んできます。

“それでは不十分だ” “こうすべきだ” “やっても意味がない” といった声を知らない誰かから突きつけられる時代に生きています。

“誰かにとっての正しさの矢” はある意味 **「勲章」** です。

やっている人にしか飛んできません。

何もしていない人には、そもそも批判すら生まれない



仲間は多く、組織運営はシンプルに

014

船頭多くして、船山のぼる

多様な声とどう向き合うか

ボランティアが増えると活動は広がり、新たな視点も生まれます。

一方で、意見が多いほど組織はぶれやすくなります。

特に「対等な善意」が集まる現場では、目的や優先順位が曖昧になるリスクが常につきまといます。



だからこそ——原点と理念を常に問い直すこと

必要ならば「それは私たちのやることではありません」と毅然と伝える覚悟を

③ 活動が続けるポイント
その2



無料塾には、根源的な構造上の問題点を抱えています

支援が必要な子ほど、支援が ~~届かない~~ ではなく…

「支援を欲しがらない」という現実

いわば、需要と供給が合っていない

④ 課題と感じる点

子ども食堂の場合は



お腹を満たしたい
温かいご飯を食べたい
一緒に食事がしたい



ごはんを食べた子は、
「美味しかった」
「また来たい」と言う



その笑顔を見た大人
は、「やってよかった」
と実感する

子ども食堂には非常に明確なニーズがあり、手応えもわかりやすく、お互いにとって
幸せな構図ができていますが・・・



とくに低学力層では「勉強は嫌なもの」「自分とは関係ないもの」という思い込みが強く、**そもそもニーズが「存在しない」ことが多い**

また、目に見える結果は数日後どころか数か月であり、低学力層はなかなか結果が出づらいという現実もある。

④課題と感ずること

1 子ども達のニーズが見えにくい



2 学習の成果が満たされにくい



3 指導者も手応えを感じづらい

有料塾が持つ膨大な時間と人材、長年培った経験や技術を惜しみなく投入しても学力や成績はなかなか上らないのが現実です。



けれども、そういう子たちにこそ無料塾は必要なはず

いや、むしろ**無料塾がもつ雰囲気こそ彼らに合っている**ともいえる

なぜなら…

- ・宿題や課題、そして結果と競争に日々追われない
- ・「塾代払ってるんだから」という親の圧力もない
- ・塾の進学実績に追い立てられない

本来の「学びの環境」が無料塾にはある



- ✓ 関係性をつくっていくこと
- ✓ 「わからない」を責めないこと
- ✓ 学びの意味を一緒に探していくこと
- ✓ 長く地道で根気のいるアプローチ



変化は、すぐには見えないかもしれない

今日すぐに何かが変わらなくても、1年後、5年後、10年後——「あの場所があったから」と
思い出す子がいるかもしれない。たった1人でも、そう感じてくれる子がいるなら、その場所
と時間には、確かな意味があったはずです。

それでも、
私たちは
一歩を踏み出す

**たとえ明日、世界が滅びようとも、
私は今日、リンゴの木を植える**

マルティン・ルター

「いい祖先」になりたい

むすびえ・前理事長 湯浅誠 教授

**“つばめ塾” という名前には
巣立った子ども達がやがて
誰かのために戻ってくる、
そんな思いを込めて名付けました**



八王子つばめ塾 小宮位之 理事長



「ほんの少しの可能性」に火を灯す

無料塾は、完璧な支援ではありません。
けれど「何もしない」より、確かに何か
を動かす力があります。

今すぐ役に立たなくても、
それでもリンゴの木を植え続けるよう
に私たちは未来に向けて動き続けます。

「どうせ無理」と立ち止まるより、「できる範囲でやってみる」こと。
それが、10年後の誰かの出発点になるかもしれません。

この活動に意味があるのか——そう思う日もあります。
でも、誰かの心に少しでも残るなら、それで十分。

無料塾は、そんな“ほんの少しの可能性”に静かに火
を灯す場所です。



それでも、私たちは
一歩を踏み出す

あなたなら、どう動きますか？



特定非営利活動法人 メダカのお弁当

子ども食堂/フードパントリー
無料学習支援/進学・就労フェア



いろんな色と形がつながり、
可能性は無限大。

ご清聴
ありがとう
ございました

